

2021.11.1 (月)

ECHONET IoTマスター制度の新設について





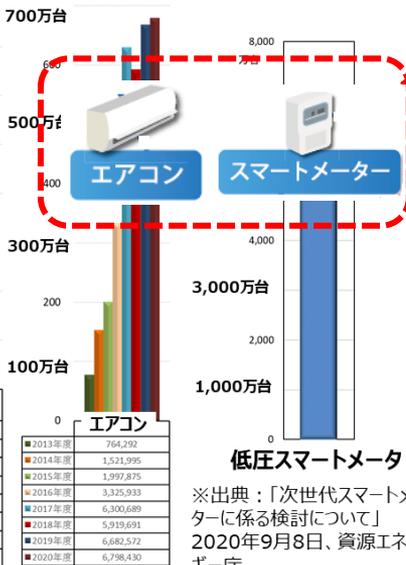
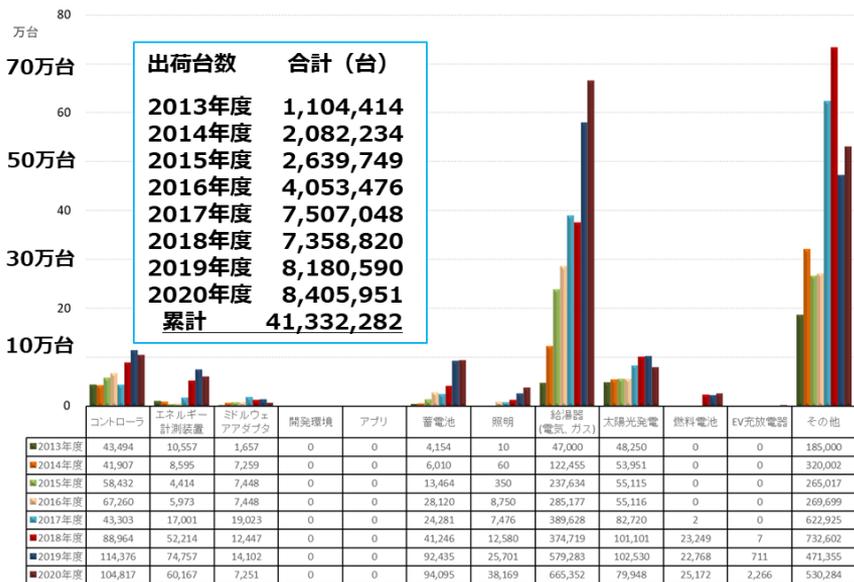
ECHONET IoTマスター制度を新設します

1億超のECHONET Lite機器市場実装の強みを活かし、IT人材育成を目的とした

ECHONET IoTマスター制度

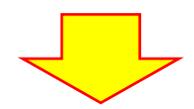
を2021年11月1日より、開始いたします。

- ECHONET Lite機器出荷台数（2013年からの累計）
1億1,234万台（4,247万台+6,987万台（スマートメータ））



およそ1世帯に1セットのECHONET Lite機器（スマメ+エアコン）の設置

ECHONET 2.0技術セミナー
IT人材(Webサービス開発者)の育成



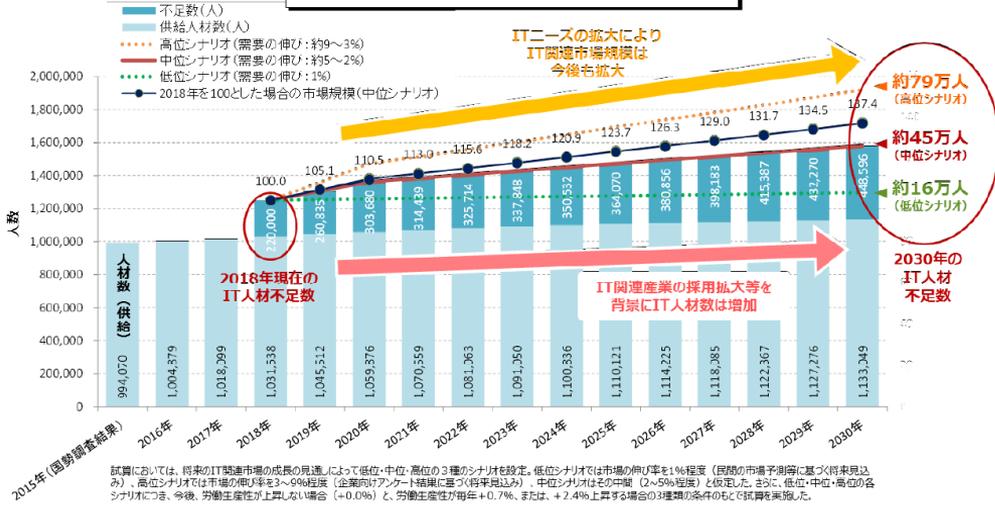
ECHONET Lite機器を活用したサービス市場創出

※出典：「次世代スマートメータに係る検討について」
2020年9月8日、資源エネルギー庁

● ECHONET IoTマスター制度のポイント

- IT人材不足数試算 : 約79~45万人 (2030年)
- IT人材育成のため 学びの機会提供/能力・スキル見える化の実施

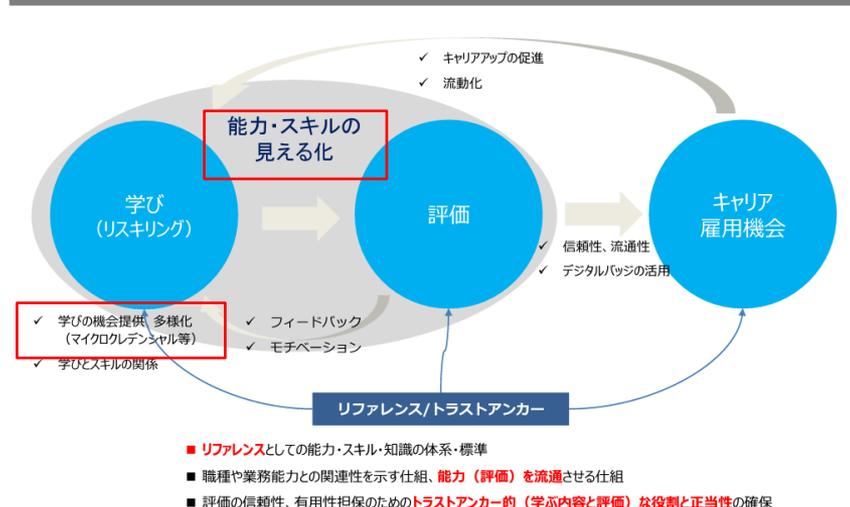
IT人材の「不足数」(需要)に関する試算結果



IT人材の「不足数」(需要)に関する試算結果

※出典: IT人材需給に関する調査(概要)、経済産業省(平成31年4月)
https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/gaiyou.pdf

能力・スキル見える化に関するエコシステムの構造と求められる仕組み



能力・スキル見える化に関するエコシステムのイメージ

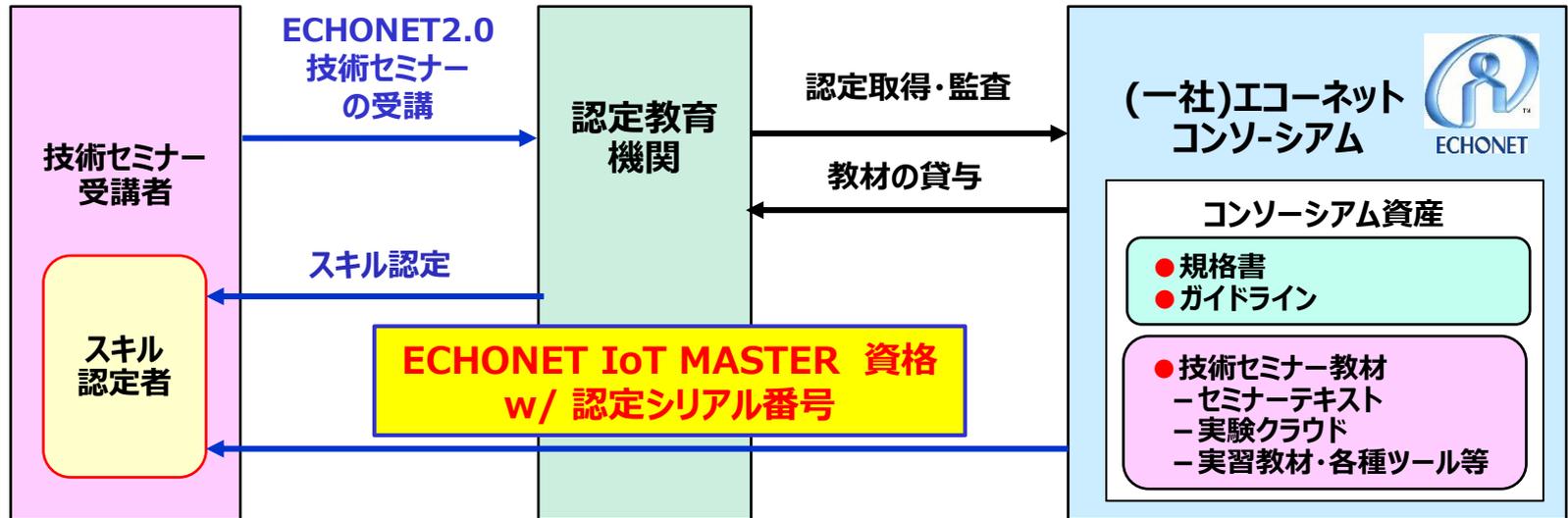
※出典: 第4回 デジタル時代の人材政策に関する検討会 配布資料(2021年6月1日)
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_jinzai/pdf/004_04_00.pdf

ECHONET IoT MASTERとは？

“ECHONET IoT MASTER”とは：

(一社)エコーネットコンソーシアムが定める教育機関にて、ECHOENT Lite/ECHONET Lite Web APIに関する教育プログラム(**ECHONET2.0技術セミナー**)を受講し、一定以上のスキルを習得したと認められる個人に与えられる資格です。

● ECHONET IoTマスター制度のスキーム



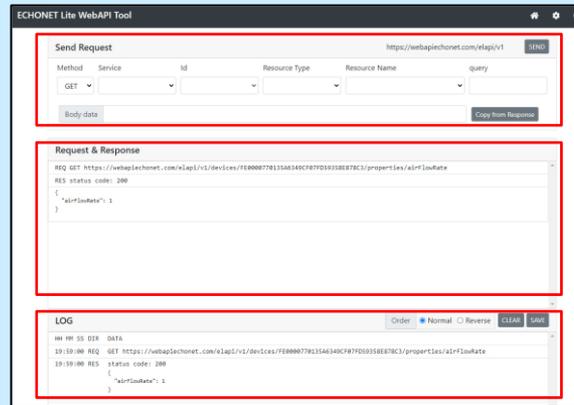
① 「ECHONET Lite WebAPI実験クラウド」の利用

ECHONET2.0技術セミナーで活用した、

- ・ECHONET Lite WebAPI実験クラウド
- ・実験クラウド動作確認GUIツール「ELWebAPITool」
- ・学習用アプリ「ELWebAPIStudy」

を継続利用することができます。

更に理解を深める自習用に、Webサービスアプリ開発のリファレンスとして活用ください。



実験クラウド動作確認GUIツール「ELWebAPITool」

- **Send Request**
ECHONET Lite Web API に送信するリクエスト内容を設定します。
- **Request & Response**
送信されたリクエストの内容と、レスポンスとして返ってきたデータが表示されます。
- **LOG**
これまでのリクエストとレスポンスの履歴が表示されます。

② 商標の使用

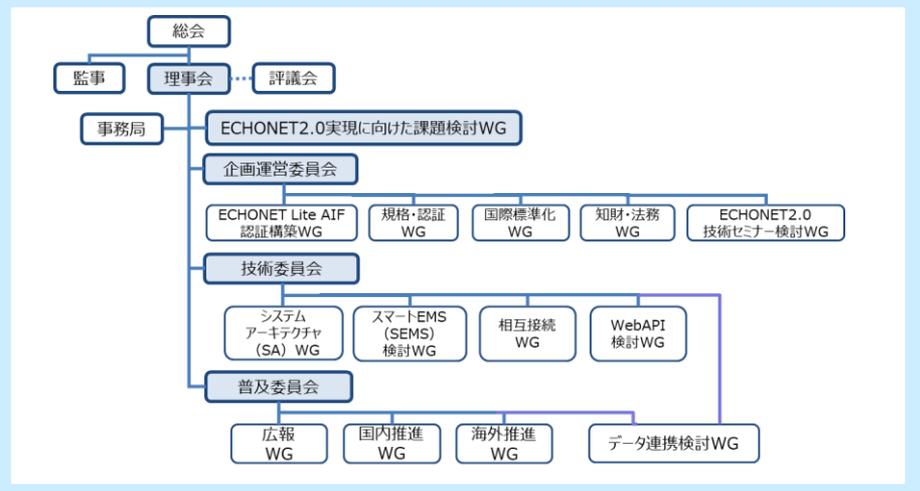
ECHOENT IoT MASTER ロゴマーク(新設)等のエコーネットコンソーシアムが管理する商標を使用できます。名刺や、ホームページ、展示会等で活用ください。



③ ワーキンググループ (WG) への参加

会員各社メンバーによるWGに参加し、ECHONET Lite規格や、ECHONET Lite WebAPI仕様の策定検討に参加することができます。

※ 参加には上位委員会の要請・承認が必要です。



④ ECHONETフォーラムへの参加

⑤ ニュースレターの受信

会員限定イベント ECHONETフォーラム（2回/年）への参加、ニュースレターの受信登録が行えます。規格・仕様の改訂、コンソーシアムの活動状況等の情報をタイムリーに受け取ることができます。



第12回フォーラム（2020.2.19）

⑥ コミュニティサイト加入

学習支援を目的としたコミュニティサイトとして、“**Qiita Organization**”に、エコーネットコンソーシアムのページを開設しました。会員メンバーによる、ECHONET Lite、ECHONET Lite WebAPI活用事例の投稿、FAQとしての活用していきます。規格、仕様、WebAPI実験クラウドの利用等に関する質問は、本サイトの活用をお願いします。



<https://qiita.com/organizations/echonet>

⑦ その他エコーネットコンソーシアムが認めた活動

今後、ECHONET IoT MASTER限定オフ会や、会員企業とのビジネスマッチング等の皆様に有益なイベントを企画していく予定です。

- 1) 対象者 : Web APIを活用したサービスアプリの開発を目指す方々
 Webプログラミングの知識はある程度有する。(ほかのセミナー受講でカバー可能)
 ECHONET Liteに関しては、名前と概要程度を知っている。
- 2) セミナー形式 : 対面 / オンライン形式
- 3) コース設定 : 1日目 : 初級編 (座学、実習)、2日目 : 応用編 (座学、実習) の2日間コース

● セミナープログラム (例)

1日目	項目	
第1部 IoTサービスを実現する ECHONET Lite	ECHONET Liteとは	SDGsとIoT
		ECHONET Liteの現状
		IoT家電を動かす
		IoTサービスのアイデアを考える
ECHONET Liteの仕組み	ECHONET Liteの動作環境	ネットワークの基礎知識
		ECHONET Liteの基本コマンド
		ECHONET Lite Web APIとは
第2部 ECHONET Lite Web APIの基本	ECHONET Lite Web APIとは	Web APIとは
		ECHONET Lite Web APIのしくみ
	ECHONET Lite Web APIガイドライン	ECHONET Lite Web APIのリソース設計
		APIによる機器制御のモデルケース
	ECHONET Lite Web APIの動作検証	エミュレータによる検証
	ECHONET Lite Web APIの基本機能の演習	

2日目	項目	
第3部 ECHONET Lite Web APIの応用	機器情報の詳細を理解する	Device Descriptionのデータ形式
		Device Descriptionのプロパティ
第4部 IoTアプリケーション開発	ECHONET Lite Web APIの応用機能	ECHONET Lite Web APIをより便利に利用する
		省エネルギーを実現するIoTアプリ
ECHONET Liteが実現する未来	IoTアプリのプログラミング	IoTアプリの機能
		IoTアプリの使用技術
		アプリケーション全体の設計
		照明のON/OFFを切り替える
		エアコンの状態を把握する
		スマートメーターから電力量を取得
		他のWeb APIとの連携
		-

● 実習教材 (例)



**ECHONET Lite Web API
 実験クラウドを活用した実習**

● ECHONET2.0技術セミナー 認定教育機関

- ・教育機関名 : インターネット・アカデミー
- ・お問い合わせ先 : 03-3341-3781

INTERNET ACADEMY
Institute of Web Design & Software Services

<https://www.internetacademy.co.jp>



The screenshot shows the homepage of the Internet Academy website. At the top, there is a navigation bar with the company name 'INTERNET ACADEMY' and 'Institute of Web Design & Software Services'. Below the navigation bar, there are several menu items: '研修事例', 'スキル別研修', '階層・職種別研修', '研修スタイル', and 'アカデミーの特長'. A prominent orange button labeled 'お問い合わせ・ご相談' is visible. The main content area features a large image of a woman, identified as '台湾デジタル担当大臣 オードリー・タン氏' (Audrey Tang), with the text 'ITと教育' and 'カスタマイズ型のIT研修でプロフェッショナルを育成する専門スクール'. Below this, there are two buttons: a pink one for '【2022年卒 新人研修】受付中! お早めにお問い合わせください!' and a blue one for '助成金制度ご利用のご案内'. At the bottom, there is a section titled '自社にぴったりのIT研修を探す' with three buttons: 'IT基礎', 'Webサイト構築', and 'マネジメント'. A circular logo with '504への取り組み' is also present.



